

2018

国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会

International Women's Wheelchair Basketball Friendship Games OSAKA CUP



地域親善交流会

2018. 2/14 水

大阪市内各区交流会会場 [市内 8 区]

障がい者のスポーツの普及と障がいや障がい者への理解・啓発を図るため、子どもたちや地域の方々が各国の選手と触れ合う交流会を行います。



国際親善大会

2018. 2/15 木 ~ 2/17 土

大阪中央体育館

入場無料

大阪市営地下鉄「朝潮橋駅」より約300m

参加
チーム
(予定)



オーストラリア



イギリス



オランダ



日本



主催

(一社) 日本車いすバスケットボール連盟
(社福) 大阪市障害者福祉・スポーツ協会
大阪市

主管
問合せ

国際親善車いすバスケットボール大阪大会
実行委員会事務局
(社福) 大阪市障害者福祉・スポーツ協会
障がい者スポーツ振興部 スポーツ振興室

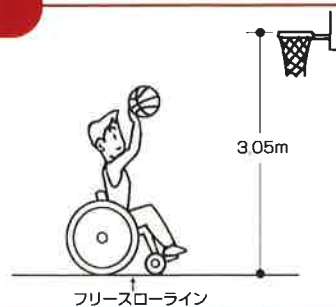
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-32
(大阪市長居障がい者スポーツセンター内)
電話 06-6606-1631 FAX 06-6606-1638
<http://www.osakacup.org/>

車いすバスケットボールについて

1. ゲームのあらまし

車いすバスケットボールのルールは、一般のバスケットボールのルールとほぼ同じです。1チーム5人の選手がボールを奪い合い、一般の競技と同じ高さ（3.05m）のゴールにボールを投げ入れて、得点を競います。スピードや敏捷性、持久力に加えて、車いすを操作する技術などが決め手となります。

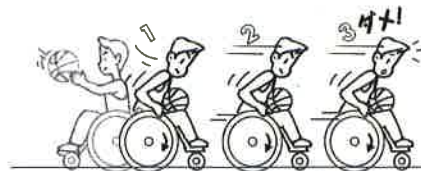
また、ゲームは10分のピリオドを4回行います。第1ピリオドと第2ピリオドの間、第3ピリオドと第4ピリオドの間にそれぞれ2分のインターバルがあり、第2ピリオドと第3ピリオドの間のハーフタイムは、10分または15分です。



2. 車いすバスケットボール特有のルール

(1) トラヴェリング

選手がボールを持っているときのプッシュ（車いすを手でこぐこと）は、連続2回まで認められています。3回以上プッシュするとトラヴェリングとなり、相手チームのスロー・インとなります。



(2) ダブルドリブル

ダブルドリブルは適用されません。プッシュが連続2回以内で、次にドリブルをすれば、繰り返しプッシュすることができます。



(3) 車いすの転倒

試合中に車いすが転倒した場合は、自力で起きあがらなければなりません。起きあがることのできない場合は、審判の判断で試合が中断され、チームスタッフが介助します。

なお、ボールを持ったまま転倒した場合は、相手チームのスロー・インとなり、ボールを持たずに転倒した場合は、審判の判断で試合が中断されることがあり、ボールを持っていたチームのスロー・インとなります。



(4) 選手とチームの持ち点

選手一人ひとりが障がいの程度により、1.0点から0.5点きざみで4.5点まで、持ち点でクラス分けされています。

また、コートに出ている選手5人の持ち点の合計が14.0点以内で編成するように決められています。

持ち点	程度	主な動き
1.0または1.5	重い	腹筋、背筋が機能せず、座位バランスを取ることができません。
2.0または2.5	↑	腹筋、背筋がある程度機能しており、前傾の姿勢が取れます。
3.0または3.5	↓	下肢にわずかな筋力があり、深い前傾姿勢から早く上体を起こすことができます。
4.0または4.5	軽い	両手を上げて、片方向に（4.5は両方向に）車椅子を大きく傾けることができます。

観戦団体募集

16回目となる本大会は、国際親善や障がい及び障がい者への理解・啓発を目的に、多くの小・中学生、団体のみなさまにご観戦いただきました。団体席を予約できますので、お気軽にお申し込み・お問い合わせください。

【2017年9月中旬より受付開始予定】

